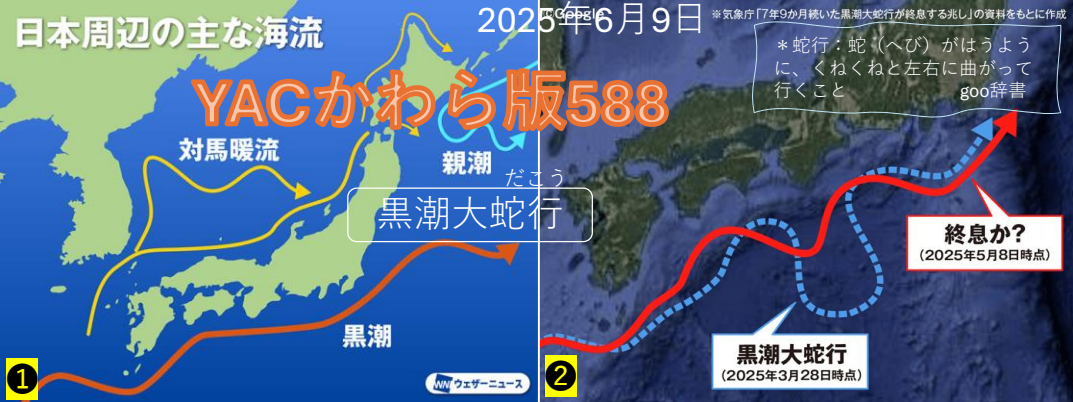




気象庁5月9日の「7年9か月続いた黒潮大蛇行が終息する兆し」という気象庁の発表をうけて「大蛇行」に関して多くの報道がありました。①②

<https://weathernews.jp/news/202505/130146/>

黒潮などについては気象庁のウェブサイトで確認できます。

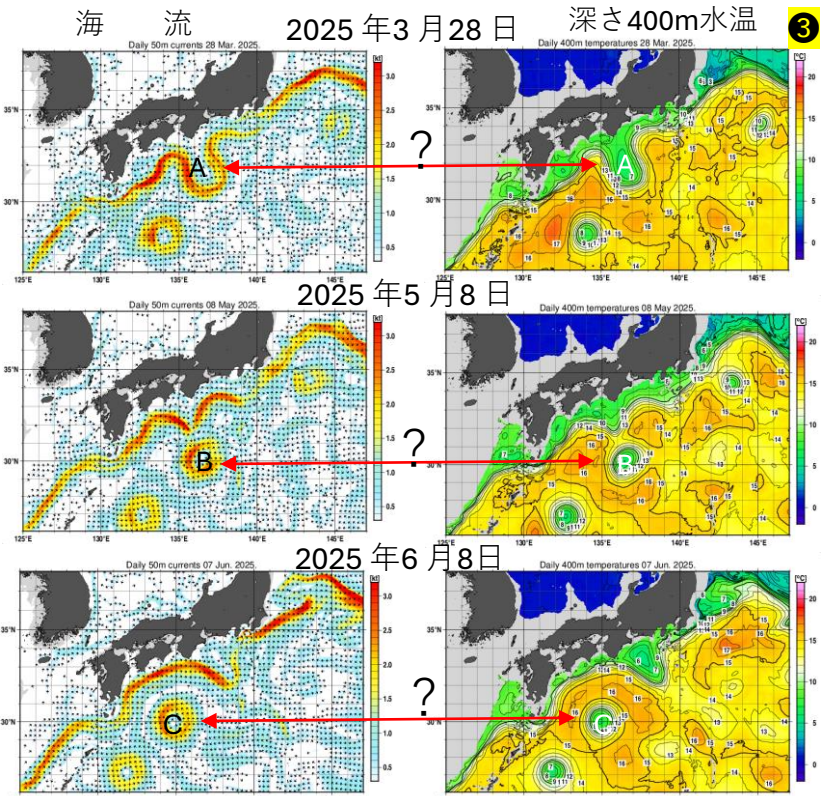
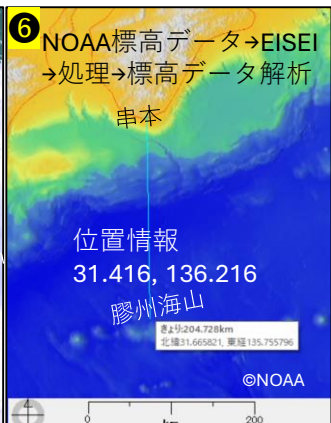
https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyō/daily/t100_HQ.html?areano=

報道されている「大蛇行」を、原資料で積極的に調べていると大蛇行の要因について興味が出てきますね。③図のABC部分はどうしてなのでしょう。

過去の新聞記事を「大蛇行」というキーワードで調べていると、2023年8月10日の東京新聞の記事に出会いました。④

「黒潮の通り道である九州の南東沖で、冷水渦と呼ばれる水温が低い渦と黒潮が出合い、『小蛇行』が起きました。これが大蛇行のきっかけとなりました」と海洋研究開発機構（海洋機構）の美山透主任研究員は説明します。小蛇行は紀伊半島の南約二百キロの海底にある「膠州（こうしゅう）海山」にぶつかって発達し、大蛇行となりました。

「あの水平線の下に膠州海山があったのか」と串本の潮岬青少年の家から太平洋をながめたことを思い出します。コペルニクスブラウザとNOAA



ウェブサイトのデータと海洋情報研究センターの資料とを照合してみました。

衛星データでみる海面の下に改めて大きな関心を持ち始めました。